

種別	肥料の種類	工程	主な生産工程の概要	植害
りん酸質肥料	熔成りん肥	要	<p>りん鉱石に蛇紋岩を混合したものを1,350～1,500 で熔融し、高圧の冷水を接触させて急冷・水砕したもの。</p> <p>蛇紋岩の代替として、けい酸及びマグネシウム含量の高いニッケル鉱さい等を用いるものもある。</p> <p>原料の一部にマンガン鉱又はほう砂を加えたものはBM熔りんと呼ばれ、く溶性マンガ、く溶性ほう素を含む。</p>	

ポケット肥料要覧より

りん鉱石に苦土含有物を混合したものを1350～1500 で熔融し、これに高圧の冷水を接触させて急冷・水砕したものをいう。原料の種類により緑色、黒褐色、灰色を呈するが、いずれも重いガラス状の粉末で、りん酸、苦土石灰、けい酸の固溶体である。原料の一部にマンガン鉱又はほう砂を加えたものはBM熔りんと呼ばれる。塩基性肥料でく溶性りん酸17～26%、く溶性苦土15～18%、可溶性けい酸20～27%、アルカリ分40%以上を、BM熔りんではこのほかく溶性マンガ1.0～5.0%、く溶性ほう素0.5～1.5%を含有する。